

はしがき

本書は、公益財団法人トラスト未来フォーラムのお世話のもと、2019年5月から2021年3月まで行った研究会の成果をとりまとめたものである。

この研究会は、以前から、公益財団法人トラスト未来フォーラムが、若手の信託法研究者の育成のために開催されてこられた研究会の後継として位置づけられるものであり、その経緯は、2010年2月にトラスト60研究叢書の1冊として公表した『新信託法の理論分析』のはしがきにおいて述べたところである。研究会の運営の仕方などについても、以前からの研究会を踏襲しており、研究会自体としては、信託法の全般的な検討を行うが、参加者は、その検討を通じて各人がとくに興味を有するに至った点につき、自由にテーマを設定し、論文を執筆することとしている。

研究会は、「現代信託法理に関する研究」というテーマで行われたが、そのテーマにふさわしい力作が寄せられた。すなわち、扱われている問題は、すぐれて現代的なものであるが、いずれも信託法理の基礎に結びつくものである。論文集の題名は、そのことをより明確にするために、「信託の基礎法理と現代的問題の結びつき」とした。

若手信託法学者の育成の重要性を認識され、貴重な助成と行き届いた事務上のお世話のもと、このような研究を可能とくださった、公益財団法人トラスト未来フォーラムに、参加者一同、心から感謝するものである。

2022年6月

執筆者を代表して
道垣内弘人

「現代信託法理に関する研究」メンバーリスト

道垣内弘人	(どうがうち ひろと)	専修大学 教授
石綿はる美	(いしわた はるみ)	一橋大学 准教授
大塚智見	(おおつか ともみ)	大阪大学 准教授
小峯庸平	(こみね ようへい)	一橋大学 准教授
水津太郎	(すいづ たろう)	東京大学 教授
鶴ヶ野翔麻	(つるがの しょうま)	千葉大学 准教授
平野秀文	(ひらの ひでふみ)	千葉大学 准教授

(順不同、敬称略)

目次

はしがき	(道垣内弘人) ……………	i
信託財産に属することの対抗と公示	(水津太郎) ……………	1
指図型信託の法的構造	(大塚智見) ……………	63
銀行勘定貸の法的性質理解が関係する問題点	(道垣内弘人) ……………	83
イングランド法上の受託者の公平義務	(平野秀文) ……………	93
信託財産からの費用償還における受託者の優先権 ——その趣旨をめぐる考察	(鶴ヶ野翔麻) ……………	115